

選挙に行ったら政治を変えよう

明日を変えるのはあなたの一票

投票率大幅アップへ 選挙権の行使を

今回の参議院選挙は、私たち国民の手に政治を取り戻す重要な選挙です。

6月を「参議院選挙総学習・行動月間」として、「選挙に行ったら戦争法(安保法制)を廃止しよう」を軸に全組合員学習や職場討議を進めていきましょう。

「安倍政権NO!」の選挙権行使を大きくよびかけたいと思います。

全労連が提起した「3つの判断基準」(別掲)を基本に職場・地域で新聞号外や学習資料等を活用した学

習と宣伝を強めましょう。

また歴史的な国政選挙にするためにも投票率アップにむけてとくに「18歳選挙権」を重視し、青年労働者へのとりくみを強め「投票に行こう」ポテッカードや政策資料などを活用し、棄権防止と選挙権の行使をよびかけていきましょう。

政党支持・政治活動の自由を保障して

労働組合の選挙闘争の基本は、組合員一人ひとりの政党支持の自由であり、政治活動の自由の保障です。特定政党の締め付けに反対し、要求実現の視点から

3つの判断基準

- ① アメリカと一緒に海外で戦争する国が憲法を守り活かす平和・民主国家か
- ② 雇用・社会保障破壊の継続か賃金の底上げ・格差是正への政策転換か
- ③ 大企業の利益に偏重したグローバル競争国家づくりか地域活性化・暮らし第一の安全・安心社会への転換か

組合員の判断材料として、各政党の選挙公約などの資料を提供していきます。また不当な政治活動の干渉・妨害に対し、公職選挙法等の学習や「誰でもができる選挙活動」(左掲)などを紹介していきます。

野党統一候補の押しあげに全力を

今回の参議院選挙では、「野党は共闘」の国民世論をうけて、2月19日の野党5党合意(当時)や市民、労働組合などの共同の力で参議院1人区の32全選挙区で野党統一候補が実現しました。

各県・各選挙区の実情に応じて、野党統一候補をはじめ、各候補者の押しあげをはかっていきます。

SNSとインターネットを使おう!

2013年4月の公職選挙法改正により、選挙期間中にウェブサイト(電子メールは除く)を使った選挙運動が可能になりました。選挙期間中、自分のホームページ(HP)やブログに支持する政党や候補者についての氏名、写真、政策などを掲載し、投票を呼びかけることができます。

FacebookやTwitterで支持依頼が可能に

SNSのメッセージ機能をいかして、他のユーザーとの意見交換や投票依頼をすることが可能です。自分で撮った写真や画像を送ることもできます。

労組、民主団体としても活用を

ウェブサイト(電子メールは除く)を利用して、団体の要求実現の立場から政党や候補者の政策の紹介、論評、批判をすることができます。

ネットでできる選挙運動(公示日から投票日前日まで)

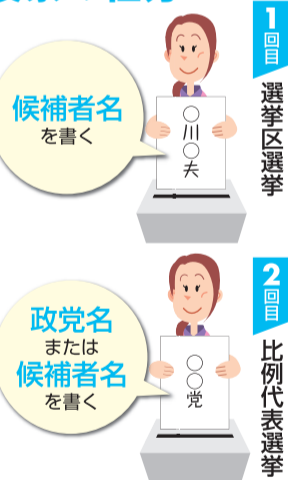
		一般有権者	候補者・政党
ウェブサイト	HP、ブログ	○	○
	SNSなど	○	○
	電子メール	×	△※

※電子メールの送信には相手の事前の同意が必要

参考:日本国民救済会中央本部『のびのび自由に選挙・宣伝活動を ココロエQ』

投票に行こう

参議院選挙の投票の仕方



7月10日に投票に行けない人は 期日前投票

公示の前日時点で、今お住まいのところに3カ月以上住民票があれば、お住まいの市町村で投票ができます。

期間 公示翌日から選挙期日の前日まで。Am8:30~Pm8:00

場所 市町村役場や出張所です。*市町村選管にお問合せ下さい。

持ち物 投票所入場整理券

不在者投票も活用しよう

今年3月に住民票を移している場合は、以前お住まいの市町村の選挙人名簿に登録されている場合があります。その時は「不在者投票」しましょう。

切実な要求、夢の実現をたくして投票します!

安心と笑顔の介護にしたい



日本医労連 滋賀民医労執行委員 坂田 浩子さん(47)

利用者の娘さんから「最近笑顔がとても少ないね」と言われました。介護報酬の引き下げで労働強化は進むが、増員も賃金、労働条件の改善もなく疲弊して当たり前です。選挙で現政権を倒し、労働者、利用者、家族、事業者が安心できる、生きる喜び、働く元気がわく介護現場を実現したい。そんな夢をたくす一票をみんなで積み重ねたいです。

平和を壊す安倍政権はNO!



全労連・全国一般兵庫支部 兵庫県法律関連労働組合書記長 藤井玲佳さん(36)

私は昨年5月、NPT再検討会議が開かれたニューヨークに行って、世界では市民こそが反核平和運動の主役であることを実感しました。今度の参院選では、市民と野党共闘の力で、平和を壊す安倍政権を打倒しましょう!

“最賃全国一律、1000円以上”の候補者に期待



生協労連 こうち生協労組副委員長 町田麗さん(45)

高知県は、ここ数年連続して全国で最低の最賃金額となっています。この最賃金額では暮らせないことはもちろん、私たちの賃上げのたかいたの大きな足かせとなっています。今度の選挙で、全国一律最賃制、今すぐ1000円以上の実現を訴える候補者が、たくさん当選することに期待します。